

新堀小学校[第5学年]にいぼりッチタイム 年間指導計画

1 単元名 「新堀小 全力オリンピック～めざせ金メダル～」(10時間扱い)

2 単元の目標

オリンピックの新種目について調べる活動を通して、スポーツの価値を理解したり、障がいのある方や海外の文化などの多様性に関する理解を深めたりするして、学んだことを、将来、国際社会や地域社会で活動していくための貴重な機会やかけがえのない財産にしようとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
オリンピックの精神(歴史、意義、価値、役割等)や競技種目の特徴やルール、参加国・地域の歴史・文化等について探求することで、知識やその探求技能を身に付けることができる。	オリンピックの精神(歴史、意義、価値、役割等)や競技種目の特徴やルール、参加国・地域の歴史・文化等について、自己の課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ方などの力を発揮し、活用することができる。	オリンピックの精神(歴史、意義、価値、役割等)や競技種目の特徴やルール、参加国・地域の歴史・文化等についての探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができる。

過程	○主な学習内容 ※東京2020教育プログラム『よい、ドン!』を活用	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連 【教科等】「関連する内容」(時期)	
			にいぼりッチタイム	【教科等】 「関連する内容」(時期)
課題の 設定 3 時間	○課題の見つけ方 ①オリンピック・パラリンピックの競技について意見交流する。 ②埼玉県で競技される種目について考える。 ③調べたい競技(新種目)を決め、調べる項目などについて考える。(1時間) ④課題決定とグループ作り(1時間)	・アスリートの競技映像などを用意し、児童が興味をもてるようにする。 ・埼玉県を会場にして行う競技について調べることで、身近にオリパラを感じることができるようにさせる。 ・新しい競技種目とその選手や埼玉県出身の選手にも注目するようにする。	「情報活用の仕方」 「オリンピックの精神」 「学力金メダル」 「体力金メダル」 「ラグビーポスター」	→ 【道徳】「悲願の金メダル」(1月) → 【国語】【算数】学力オリンピック(4月) ○全国学力・学習状況調査問題 ○埼玉県学力・学習状況調査問題 → 【体育】「新体カテスト」 ← 【図工】「ラグビーポスター」(7月)
情報 の べ る 収 集 5 時間	○情報活用の仕方 ○多様性の尊重・共生 ⑤調べる分担や発表方法について話し合う。(1時間) ⑥ラグビー・オリパラノートを作り、インターネットや書籍などを活用して調べる。(4時間)	・新しい情報を記録できるようにする。 ・図書室の本には数に限りがあるため、新聞や市報、広報誌など家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。また、インターネットから情報を得るようにする。 ★知識やその探求技能を身に着けることができている。【知識および技能】(記録ノート)	「調べ考えや意見をまとめる活動」 「自分の考えを伝え合う」	← 【国語】「情報ノート」を作ろう(4月) → 【外国語】Who is your hero?(3月) あこがれの人の人
整理 ・ め る 分 析 6 時間	○情報整理の仕方 ⑦まとめに必要な部分を整理する。(1時間) ○自分の考えの表し方 記事や発表物についての自分の考えを整理する。(1時間) ⑧調べたことをまとめていく。(4時間)	・発表では、誰にどのように伝えるのかを考えながら資料を整理していく。 ・文字だけにならないようし、グラフや写真など、視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができる 【思考力・判断力・表現力】(記録ノート・発表資料)	「自分の考えの表し方」 「調べ考えや意見をまとめる活動」	→ 【国語】「すじみちを立てて発表しよう」中心点をはっきりさせ、理由を添えて紹介する(6月) → 【国語】「世界遺産 白神山地からの提言―意見文を書こう―」(10月)
まとめ ・ す ・ 表 現 ひ ろ め る 2 時間	○効果的な伝え方 ⑨学級・学年間で、オリンピック・パラリンピックの発表を見合う。(1時間) ⑩体験や発表等を通して、考えたことをまとめる。(1時間)	・発表カードに発表を聞いてあるいは発表しての感想を記入する。 ・様々な種類のスポーツがあることを知り、自分が調べたこと以外にも関心をもつ。 ・競技体験や発表を通して学んだことを、他の人に伝える。	「発表の仕方」 「考えをまとめる活動」	→ 【国語】「立場を決めて話し合おう」(9月) → 「資料を工夫して効果的に発表しよう」(1月)

1 単元名 「熊谷の名所を伝えよう」(15時間扱い)

2 単元の目標

熊谷市と小川町の名所を調べたり役所の人や利用したりしている人に取材したりする活動を通して、熊谷市と小川町の名所やそれに関わる人々の思いに気づき、地域の一員として自分たちにできることを考えるとともに、学んだことを身近な人に伝えたり自らの生活に生かそうとしたりする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
熊谷と小川の名所にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	熊谷と小川の名所の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	熊谷と小川の名所についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 2時間	○課題の見つけ方 ①単元の学習の見通しをもつ。 ②熊谷と小川の名所について知る。 (1時間) ③熊谷と小川の名所を比べていき、自分の課題をもつ。 (1時間)	・写真や映像資料などを使い、児童が興味をもてるようにする。 ・環境問題という部分からも考えさせる。 ・林間学校とも関連付ける。目標をもつことでさらに関心を高め、課題設定に活かす。	情報活用の仕方 環境問題 環境問題	→【新聞記事】(情報ノート) →【国語】「世界遺産、白神山地からの提言―意見文を書こう」 →【社会】「世界とつながる私たちの埼玉県」 →【社会】「わたしたちの生活と森林」
情報の収集 6時間	○情報活用の仕方 ④図書資料やインターネットの活用の仕方を確認する。 ⑤熊谷と小川の名所と日本の世界遺産・文化遺産について、図書資料やインターネットを活用して調べる。 (4時間)	・インターネットの資料を中心に調べていくことができるようにする。	調べた情報の活用	→【社会】「情報を生かすわたしたち」
整理・分析 4時間	○情報整理の仕方 ⑥分かりやすく伝える方法を考える。 ⑦調べたこと、わかったことをまとめる。	・ポスターやパンフレットなど、具体物を見せて伝える方法を考えさせる。 ★情報を収集し、整理分析することができる。 【思考力・判断力・表現力】 (ワークシート・発表資料) ※ピラミッドチャートを活用し、どんなことを紹介するのか、取舍選択することができるようにする。	「自分の考えの表し方」	→【国語】「しょうかいポスターを作ろう」 →【国語】「わが町ベストスリー」
まとめ・表現 2時間	○効果的な伝え方 ⑧発表会をして伝え合う ⑨体験や発表会を通して分かったことや考えたことを振り返る。	・友達の発表のよいところを見つけたら、発表内容を記憶したりしながら、自己の理解も高める。	森の自然	→【社会】「環境を守るわたしたち」

1 単元名 「ラグビータウン熊谷を盛り上げよう！」(15時間扱い)

2 単元の目標

地域で活動するラグビーチーム「アルカス熊谷」について調べたり、交流したりする活動を通して、「アルカス熊谷」を支える取組、人々の工夫や努力、人々の思いに気づき、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
「アルカス熊谷」にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	「アルカス熊谷」の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	「アルカス熊谷」についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 2時間	○課題の見付け方 ①「アルカス熊谷」について知っていることを話し合う。 ②話し合ったことから、自分の課題を見つける。 ③課題決定とグループ作りをする。(1時間)	・「アルカス熊谷」に関連する映像資料などを使い、児童が興味をもてるようにする。 ・話し合ったことを自分の課題設定に生かす。 ・15人制、7人制、車椅子ラグビー、タグラグビーの4つにも触れながら考えさせる。 ・オリンピック・パラリンピックと関係の深い種目にも注目する。 ★自分の興味を持ったことに課題を決めることができている。【思考力・判断力・表現力】(ワークシート) ※Yチャートを活用し、「人」「もの」「こと」の三つの観点で情報を整理する。	「オリンピックの精神」 「選手の出身国についての文化理解」	→【道徳】「長嶋茂雄の人生は七転び八起き」(5年9月) →【外国語】I want to go to Italy. 「行ってみたい国や地域」(5年7月)
情報の収集 7時間	○情報活用の仕方 ○多様性の尊重・共生 ④調べる分担や発表方法について話し合う。(1時間) ⑤自分の課題について、図書資料やインターネットを活用したり、インタビューしたりして調べる。 ⑥アルカス熊谷との交流・親善タグラグビー大会のこともふまえて調べる。(3時間)	・調べたことが、どこの情報か、いつの情報かを明らかにして記録できるようにする。 ・図書室の本には数に限りがあるため、市報、広報誌など家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。 ★知識やその探求技能を身に付けることができている。【知識および技能】(記録ノート) ★「人」「もの」「こと」の三つの観点で情報を収集している。 【知識・技能】(ワークシート)	「調べる活動」 「世界と埼玉県」	←【国語】「図書館へ行く」知りたいことに応じた本を探して読み、必要な事柄を記録する。 →【社会】「世界とつながるわたしたちの埼玉県」埼玉県は、国内の様々な地域や諸外国と結びついて、協力し合っている。(4年社会3月)
整理・分析 4時間	○情報整理の仕方 ⑦調べたことを大切なことの順に整理する。 ○自分の考えの表し方 模造紙や画用紙等に自分の考えを整理する。(1時間) ⑧「アルカス熊谷」のよさを伝えられるよう、調べたことをまとめる。(4時間)	・聞き手にどのようなはたらきかけを行う資料を作るのかを明らかにさせることで、聞き手の興味をひく内容が伝えられるようにする。 ・文字を減らし、グラフや写真など、視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができる。【思考力・判断力・表現力】(記録ノート・発表資料)	「自分の考えの表し方」 「マークやシンボル」	→【国語】「すじみちを立てて発表しよう」中心点をはっきりさせ、理由を添えて紹介する(6月) →【図工】「自分マーク」をつくりお話を作って伝え合う(2月)
まとめ・表現 2時間	○効果的な伝え方 ○ラグビー精神精神 ⑨下級生を招いて、体験したことや調べたことを発表する。(1時間) ⑩体験や発表等を通して、考えたことをまとめる。(1時間)	・発表カードに発表を聞いたり、伝えたりしたことの感想を記入する。 ・調べる活動や練習・発表を通して、どんなことが考えられたかを振り返りシートに記入する。 ★地域のチームのよさを実感し、大切にしようと考えている。 【学びに向かう力・人間性等】(ワークシート)	「発表の仕方」 「考えをまとめる活動」	→【国語】「言葉や写真を引用して話す」(4月) →【社会】「新しい日本平和な日本へ」(11月) 東京オリンピック(昭和39年) 国民の努力で平和になった日本。 【体育】3校合同タグラグビー大会(12月)

1 単元名 「みんなにやさしいまちをつくろう！」(16時間扱い)

2 単元の目標

地域の高齢者との共生を課題に、関わる活動を通して、高齢者を支える取組、工夫や努力、人々の思いに気づき、「みんなにやさしいまち(すべての人が互いを大切にできる地域)」について考えるとともに、「自分にできることは何か」の視点をもって学んだことを自らの生活に生かそうとする。

3 単元の評価規準

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
高齢者にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	「みんなにやさしいまちづくり」の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	「みんなにやさしいまちづくり」についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定 3時間	○課題の見付け方 ①高齢者・福祉について意見交流する。 ②新堀地区の状況について調査する。(1時間) ③調べたい競技(種目)を決め、項目などについて考える。(1時間) ④課題設定とグループ作り(1時間)	・「埼玉県とまちの年齢別の人口の推移」、「新堀小と熊谷市の児童数の推移」などのデータを使い、児童が興味をもてるようにする。 ※ウェブマッピングを用い、思考を広げる。 ・自分たちにとって暮らしやすいまちでも、高齢者にとってはどうなのか考えさせ、課題につなげていく。 ※KJ法、ベン図などを用い、課題の種類を分類する。 ★各種データの関連性を分析し、未来の人口分布についての予想を立てている。【思考・判断・表現】(話し合いの様子・ワークシート)	「グラフの読み取り方」	→【算数】「割合をグラフに表して知らべよう」(1月)
情報の収集 7時間	○情報活用の仕方 ○多様性の尊重・共生 ⑤調べる分担や発表方法について話し合う。(1時間) ⑥自分の課題について、図書資料やインターネットを活用したり、インタビューしたりして調べる。 ⑦はなぶさ苑との交流のこともふまえて調べる。(3時間)	・「人」「もの」「こと」の三つの観点で情報を収集させる。 ・新しい情報を記録できるようにする。 ・インターネットや図書資料を使った調べ学習を中心にする。 ★知識やその探求技能を身に付けることができている。【知識及び技能】 ★「人」「もの」「こと」の三つの観点で情報を収集している。 【知識・技能】(ワークシート)	「調べる活動」	→【国語】「図書館へ行こう」知りたいことに応じた本を探して読み、必要な事柄を記録する。
整理・分析 4時間	○情報整理の仕方 ⑦調べたことを大切なことの順に整理する。 ○自分の考えの表し方 模造紙や画用紙等に自分の考えを整理する。(1時間) ⑧「みんなにやさしいまちづくり」を伝えられるよう、調べたことをまとめる。(4時間)	・聞き手にどのようなはたらきかけを行う資料を作るのかを明らかにさせることで、聞き手の興味をひく内容が伝えられるようにする。 ・文字を減らし、グラフや写真など、視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができている。【思考力・判断力・表現力】(記録ノート・発表資料)	「自分の考えの表し方」 「マークやシンボル」	→【社会】「すじみちを立てて発表しよう」中心点をはっきりさせ、理由を添えて紹介する(6月) →【図工】「自分マーク」をつくりお話を作って伝え合う(2月)
まとめ・表現 2時間	○効果的な伝え方 ⑨下級生を招いて、体験したことや調べたことを発表する。(1時間) ⑩高齢者との交流体験を家族や友達にもひろめる。(1時間)	・自分が調べたラグビー競技と、タグラグビーの共通点を中心に発表していく。 ★「みんなにやさしいまちづくり」を実感し、自分にできることを考え、高齢者を大切にしようと考えている。 【学びに向かう力・人間性等】(ワークシート)	「発表の仕方」	→【国語】「言葉や写真を引用して話す」(4月)

1 単元名 「私たちの郷土・日本」(14時間扱い)

2 単元の目標

熊谷に伝わる小麦文化や小麦製品について調べたり、熊谷小麦を扱っているお店を取材したり、うどんを作ったりする活動を通して、熊谷小麦を支えてきた人々の努力や工夫に気づき、熊谷小麦を広めるためにできることを考えるとともに、学んだことを自らの生活や行動に生かそうとする。

知識および技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力・人間性等
熊谷小麦にかかわる探求的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識・技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	熊谷小麦の中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理・分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	熊谷小麦についての探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

過程	○主な学習内容	・指導上の留意点 ★評価規準【観点】(評価方法)	各教科との関連	
			【教科等】「関連する内容」(時期)	【教科等】「関連する内容」(時期)
課題の設定期間 2時間	○課題の見つけ方 ①日本(埼玉県)の郷土料理を調べ、地域の特徴ある食文化への関心を高める。世界の人たちに「これぞ!日本(埼玉県)の郷土料理」というものが出せるように話をし意見交流する。(1時間) ②熊谷の偉人「権田愛三」について復習する。(1時間)	・話題に出そうな郷土料理の映像資料などを用意し、児童が興味関心がもてるようにする。 ・前学年の学習を振り返り、特産物・郷土料理など考えられるようにする。郷土料理については、家庭や祖父母に聞いても調べさせる。 ・権田愛三が郷土発展のためにどんな仕事をしたか復習し、権田愛三の考えを知る。 ★自己の課題設定、情報の収集、整理分析、まとめ方などの力を発揮し、活用することができている。 【思考力・判断力・表現力】 (課題設定・学習態度)	「情報活用の仕方」 → 「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する」 → 熊谷の偉人「権田愛三」 →	【国語】情報ノートを作ろう(4月) しょうかいポスターを作ろう(5月) 言葉と真実(6月) 新聞を読もう(7月) 話し言葉と書き言葉(9月) 【道徳】「思いをつないで」「道ひとすじ」(6月) 【社会】3年「熊谷の特産物」 4年「郷土の発展につくす」(権田愛三)
情報の収集 4時間	○情報活用の仕方 ○多様性の尊重・共生 ③調べる分担や発表方法について話し合う。 熊谷で生産されている米・麦について話し合う。(1時間) ④「熊谷小麦」の魅力に気づき、熊谷小麦製品を観光客にアピールする方法を考える。 インターネットや書籍などを活用して調べる。(3時間)	・調べたことが、どこの情報か、いつの情報かを明らかにして記録できるようにする。 ・図書室の本には数に限りがあるため、市報、広報誌など家庭から持ち寄った資料をもとに調べることができるようにする。また、インターネットから情報を得るようにする。 ★知識やその探求技能を身に着けることができている。 【知識および技能】(記録ノート)	「調べ考えや意見をまとめる活動」 ← 「熊谷小麦」 → 「自分の考えを伝え合う」「調べた情報の活用」 →	【国語】「意見こうかん会をしよう」(9月) 【社会】4年「郷土の発展につくす」5年わたしたちの生活と食料生産(6月) 【国語】「資料をくふうして効果的に発表しよう」(1~2月)
整理・めめる分析 5時間	○情報整理の仕方 ⑤ゲストティーチャーを招き、「熊谷うどん」の調理実習を行う。 ・実習計画(1時間) ・調理実習(2時間) ○記事や発表物についての自分の考えを整理する。 ⑥調べたことをまとめていく。(1時間)	・実際に調理しながら、小麦をどのように使って、どのような方法でうどんを作っているのか、「おいしい熊谷のうどん」の秘密を見つける。 ・写真などで視覚にうったえる見やすい資料づくりができるようにする。 ★情報を収集し、整理分析することができている 【思考力・判断力・表現力】 (記録ノート・発表資料)	「自分の考えの表し方」 → 「調べ考えや意見をまとめる活動」 →	【家庭】「はじめてみようクッキング」(4~5月) 「食べて元気に」(10月) 【国語】情報ノートを作ろう(4月) しょうかいポスターを作ろう(5月) 言葉と真実(6月) 新聞を読もう(7月) 話し言葉と書き言葉(9月)
まとめ・表現 ひろめる 3時間	○効果的な伝え方 ⑦振り返りを行い、どんなところがアピールできるか、レポートにまとめる。(2時間) ⑧体験や発表等を見合い、考えたことをまとめる。(1時間)	・友達の発表のよいところを見つけたり、発表内容を記録したりしながら、自己の理解を高める。 ★探求的な活動を通して、自己理解を高め自分自身と結びつけることができている。 【学びに向かう力・人間性】(振り返りシート、発表内容、態度)	「発表の仕方」「考えをまとめる活動」 ← 「外国の方への紹介の仕方」 →	【国語】「クラスで活動報告をしよう」(2月) 【外国語】What do you like?(4月)